

登録コード	T5B06300	開講年度	2026			
授業科目	インタラクシオンデザイン学演習(16T以降)				担当教員	柳瀬 亮太
英文授業名	Interaction Design Seminar				副担当	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生
講義室	IC3-203教室		授業形態	演習	遠隔授業科目	
					備考	インタラクシオンデザイン学の登録が必要
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2.5Tカリ, 2.3Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。			日常環境に点在する潜在的諸問題に気づけるようになる。		
	【22T～】専門的学力を基礎とし、的確な情報を収集・理解し、これを他の人に発信できる能力が身についている。			日常環境に点在する潜在的諸問題の改善に取り組む力を身につけている。		
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。			日常環境に点在する潜在的諸問題に対する改善案を提示できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース					
(4)授業の概要	五感について理解を深められるよう、心理学を中心とする知見を体験します。 それをふまえて、演習課題に取り組みます。 演習課題には各自もしくは各グループで取り組み、時間内に終わることを原則とします。					
(5)授業計画	以下の内容を扱う予定です。 インタラクシオンデザイン学の受講を前提として課題に取り組みます。 原則として、課題は毎回提出する必要があります。 第01週 ガイダンス 第02週 五感を意識する：感覚・知覚 第03週 五感を意識する：認知 第04週 五感について考える 第05週 五感について伝える 第06週 周辺環境を意識する 第07週 周辺環境を計測する 第08週 周辺環境について考える 第09週 周辺環境について伝える 第10週 まちを意識する 第11週 まちを計測する 第12週 まちについて考える 第13週 まちについて伝える 第14週 まちを楽しむ 第15週 まとめ（授業アンケートへの回答を含む）					
(6)成績評価の方法	時間内の課題（小レポート）と受講態度などを総合的に評価します。 原則として90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とします。					
(7)成績評価の基準	(1) インタラクシオンデザインに関わる基礎的および学際的知見を修得している。 (2) 人間と環境を意識してデザインする素養がある。 (3) 日常的に接している環境を他者に伝える方略をたてられる。 (4) 人間と環境との間に存在する問題に気づき、それを解決するデザインを提案できる。 上記について確認できるレベルが (1) の場合「水準にある」、(1)と(2)の場合「やや上にある」、(1)～(3)の場合「かなり上にある」、(1)～(4)の場合「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	授業内容をふまえた課題（主に小レポート）を出し、理解度や達成度を確認する。 次の授業では、その内容に応じた話題や質問にふれる。 なお、自習学習時間45時間（2時間×15回）を確保して、諸分野の情報を収集する。					
(9)履修上の注意	パソコンやコンベックス等を持参する必要がある。					
(10)質問,相談への対応	講義中もしくは前後の時間、時間外はTeamsにて受付ける。					
(11)その他						
【教科書】	五感のデザインワークブック 横山稔 彰国社（2013） 2,420円					
【参考書】	「まち歩き」をしかける：コミュニティ・ツーリズムの手ほどき 茶谷 幸治 学芸出版社（2012）1,700円 環境心理学：シリーズ心理学と仕事17 太田信夫（監修）、羽生和紀（編） 北大路書房（2017）2,420円					